

語釈：インターネット Twitter 上でみる Trump 米大統領の英語 (4)

(A Basic Way of Reading Trump-Language)

後 藤 寛

Trump 大統領は状況に応じ大胆に言説を変えもするが、根は首尾一貫しているとも思える。彼のツイートは刻々とアメリカの視点から世界情勢を見る窓口となる。同時にこれは、いわゆる *discourse analysis* (言説分析) 上も格好な素材となる。意思がどのように i) 表示され、それがどのように ii) 理解され、そしてそれがどのような iii) 効果・影響をもたらすかである。iii) は *pragmatics* (語用論) の世界である。

彼の言説を深く理解するためにはまずは各語への注目、今回も *Basic lexemes* (*Basic* 語彙素)を追ってみる。英語は「語に始まり、語に終わる」と思えるが、ここでは特別に同系語(*paronym*)への注目である。P. M. Roget 風の *thesaurus* (シソーラス)に見られるような同義語(*synonym*)、反義語(*antonym*)に関しても背景には意識しているが、いずれにせよ修得ステップとしては「分かる → 覚える → 使える」となる。

- ① Before taking office people were assuming that we were going to War with North Korea. President Obama said that North Korea was our biggest and most dangerous problem. No longer – sleep well tonight! (June 13, 2018)

▲一度は中止ともされた 6 月 12 日のシンガポールでの米朝首脳会談であったが予定どおり開催され、その翌日の Trump 大統領のツイートであった。自分が大統領になる前には北朝鮮との戦争が想定され、Obama 前大統領もその危険性を説いていたが、「もう心配ないので今夜はぐっすり眠ればよい!」と言っている内容である。

太線の *Basic* 語 **office** の語根部 *fic* は *to do, make* の意味で、この語根から多くの英語が誕生した。なお、以前に本会の *Year Book* でも触れたことがあるが、*-er* 接辞のつく **officer** を「事務員」の意味で *Basic* 語の範疇に入れるのは無理があると考ええる。英語の **officer** には「官職者」の語感が今日、あまりにも根強く定着しているからである。

次の太線の語 *assume* は {*as* (= *to*) + *sume* (= *take*)} で、語根 *sum* は *to take* の意味である。*resume, consume, presume* などが同系(*paronymic*)となる。

最後の太線語 **sleep** の音感と語感を感知しておきたい。語頭の子音 /*sl*/ は「滑(なめ)らかで、滑ること」の意味をもつ。他の *Basic* 語に **slope, slip**、プラス α *Basic* 語の *slide* (スライド) がある。un-*Basic* 語の *slim* (スリムの)、*slender* (ほっそりとした)、*sleeve* (袖)、*sled* (ソリ) などもすべて発生的に同系語群として一括される。これらの語を *lexeme* (語彙素) / *lexical item* (語彙項目) として *lexigram* (レキシグラム・画像文字) で一括提示するには、たとえば細身の女性が腕にジャケットの袖を通し、それから斜面をソリに乗り滑っている状況を、寝ているときの夢として並列画像または合成画像(*parallel or composite lexigram*)にすることも考えられよう [sleep の同系語は拙著(2016)「松柏社」、第二部、例(77)参照、また上の *office* の同系語は例(27)参照]。

- ② ・ Happy #FlagDay. (June 14, 2018)

・ Happy 243rd Birthday to the @USArmy! Thank you for your bravery, sacrifices, and dedication to the U.S.A. We love you! (June 14, 2018)

▲ここでは 2 例を並べて提示した。最初の例はアメリカには国旗記念日があり、毎年 6

月 14 日がこの日で、Trump 大統領が祝辞のツイートとしている（6 月 14 日は彼の誕生日でもある）。米国史では独立年の翌年の 1777 年 6 月 14 日に Philadelphia での大陸会議(Continental Congress)で、星条旗(the Stars and Stripes)が米国(当時は 13 州)の国旗と定められた。2 つ目の例はやはり 6 月 14 日が米国陸軍誕生の 243 回記念日で、陸軍の勇敢さと献身を称(たた)えている内容である。なお、国旗といえは 6 月 12 日の史上初の米朝首脳会談で、会場のホテルに掲げられた両国の国旗の数がそれぞれ 6 本ずつで交互に並べられ合計 12 本であったが、これは 6 月 12 日を象徴したものか？ともメディアは伝えた。

最初の太線の Basic 語 **happy** は本連載(1)の⑥、(2)の②でも扱った PIE etymon の音形(より正確には音素列) /KAP/ (獲物の頭を捕まえること) に由来する語の 1 つで、獲物を捕まえることは喜びであったわけである。

また、次の太線の Basic 語 **flag** は擬音語説もある。[flæg], [flæg], [flæg], [flæg] ... と擬音語は何度も発音してみるのがよい。

2 つ目の文例で最初の太線の Basic 語 **birth** は PIE etymon の音形/BHER/ (/BER/)、また異形として/PER/ (/FER/)が復元されている。原義(root sense)は「荷を負って運ぶこと」で、un-Basic 語の **burden** (負担)、**bear** (生む・運ぶ) なども同系であるし、実は動物の **bear** (クマ) もそうである。子を腹の中に入れ運んでいるようなクマのスタイルをイメージすればよい。なお、Basic 語で/b/→/f/からの **fertile** (肥沃な) が同系である点は注目されるべきである〔同上拙著、第二部、例(66)参照〕。

次の太線の Basic 語 **army** 「つながっていること、結びつけられていること」が原義である。他の Basic 語に **harmony, art, arm, earth, etc.**がある。un-Basic 語 **article** (記事)、**harmonica** (ハーモニカ) なども同系〔同上拙著、第二部、例(31)参照〕。

次に 3 語が羅列されているが、どれか 1 つが分かれば似たような意味の語の並びだろうことは推測される。同時にプラス(+)のイメージ語であろうことも文脈推理(contextual reasoning)できる。最初の **bravery** はカタカナ語の「ブラボー」でも想起すればどうか。「元気さ、勇敢さ」の意味は察知されよう。

次の **sacrifice** もプラス(+)のイメージ語で **sacrifice** {**sacri** (= **sacred** <*saint*) + **fice** (= to do, make)} と形態素分解され、プラス α Basic 語 **saint** (聖人) とも同系である。「神に捧げること」の語感がある。さらに次の **dedication** も似た意味の語で、語根 **dic** = to say (to *God*) である。

③ The Fake News Media said that I did not get along with other leaders at the #G7Summit in Canada. They are once again, **WRONG**! (June 15, 2018)

▲シンガポールでの米朝首脳会談の直前に開催されたカナダでの先進 7 カ国(G7)首脳会談で、Trump 大統領の貿易問題での発言に対し他の首脳から大変な反発があった。その 3 日後に Trump 大統領が、「またも間違っているのは彼らだ!」と自信満々に感嘆符付きで言っている内容である。G7(Group of Seven)はこの時 G6+1 とも言われた。

太線の Basic 語 **wrong** は初頭音が巻き舌となる[r]音で、原義は「ねじ曲げること」である。他の Basic 語 **writing**、un-Basic 語 **wrestling** (レスリング)、**wrap** (包む)、**writhe** (もがく)、**wrinkle** (しわ) などは同系。PIE etymon の音形/WER/ が発生源で、[w]音をもつ Basic 語 **wire, worm, war, etc.**も同系語。さらには[w] がラテン系で[v]となった Basic 語 **verse** (「詩」は回りくり返すもの)、形容詞のプラス α Basic 語 **reversible** (可逆性の)、un-Basic 語 **divorce** (離婚) なども同系である〔やはり辞典・事典的なものである同上拙著、第二部、例(44)で他の例も多く列挙し解説している〕。

なお、本連載(2)でも触れたことであるが、ここで扱っている Trump 大統領の英語を

すべて大筋で Basic に焼き直して言えばどうなるか？を一方で常に意識もしている。パラグラフの概要を言うのに、やはり Basic は容易だと思う。Basic はその本来の特質からしても、概要を伝えるのに向いている。きわめて数学的に思える Basic 思考の訓練には一言一句逐語的な翻訳ではなく、「概要」を素早く言う訓練をするのが要領がよい。

Basic は緻密な言語で、まずは本体の 850 語の語彙体系が完全に頭に入っていることが前提となる。Basic 語か否かが 1 語でも曖昧であれば必ず難しくなる。Basic 語が心の中であふれ出る状態になっている必要がある。1 語でも非 Basic 語(un-Basic 語)を用いた文は、もはや Basic 文としては成立しない(そういう例を必ず見かけるが、un-Basic 語が Basic 語とされているようである)。また、便宜的に用いるプラス α Basic 語や un-Basic 語は、イタリック体書きや引用符を付したりするなどし、それが本体の 850 Basic 語の枠外の語であることを常に区分けし示すのが本来だと考える。

なお、プラス α Basic 語を用いる場合の留意点は、101 語の国際語彙以外は特殊分野に関する文脈で用いるのであり任意ではない。たとえば上の①での *slide* は生物学、②での *saint* は韻文・聖書、③での *reversible* は物理学・化学に関する文脈での語となる。